伊勢原市農業委員会の委員候補者　推薦及び応募状況（最終公表）

（平成29年12月14日17時15分現在）

No.	区分		被推薦者及び応募者												推薦者						
	推薦	応募	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況			認定農業者要件（※）	中立要件	推進委員への推薦及び応募	法人・団体（名称・代表者・構成員数）			個人（代表者）			推薦及び応募の理由
							役職等	年月日	営農状況	営農類型	耕作面積（a）				名称	代表者	構成員数	氏名	職業	性別	
1		○	鈴木　雅之	男	62	農業	農業委員 福祉施設職員 就農	平成24年4月1日～現在 昭和52年12月1日～平成3年3月31日 平成4年4月1日～現在	２６年	水稲 露地野菜 施設野菜 果実	自作地 １３０ 借入地 ２１	該当	－	無							循環型、21世紀農業の構築に向けて、安心、安全な農産物の生産及び人・農・土等を通して、環境に調和した活動の構築をめざし、市、農業等の発展に寄与するため応募しました。 【遊休農地の発生防止等への考え】 規模の大小は問わず、老若男女がそれぞれの立場、形で参加できる組織、人材育成等を再確認する。まずはできることから対応していく。
2	○		岸田　文雄	男	67	農業	農業委員 ＪＡいせはら理事	平成27年6月1日～現在 平成27年5月23日～現在	２０年	水稲	自作地 １６５ 借入地 １５０	該当	－	無	大田生産組合	代表生産組合長 柏木　貞二	453				現在も農業委員であり、認定農業者として常に農業経営の発展と市の農業振興に積極的に取り組み、地域農業の模範となることから推薦します。
3		○	和田　義広	男	65	病院勤務	静岡県庁 国税庁 杉並区役所	昭和49年4月1日～昭和52年3月31日 昭和52年4月1日～昭和53年2月28日 昭和54年4月1日～平成29年3月31日				非該当	○	有							平成28年4月より神奈川県ホームファーマー事業において野菜づくりを行っている。この経験や公務員時代の識見を生かし、都市農業の発展に寄与したい。 【遊休農地の発生防止等への考え】 営農意欲の高い人に農地の集約を勧めるとともに、新規就農者への支援を強化し、耕作放棄地の活性を図ること。
4	○		黒田　義夫	男	73	農業	農業委員 伊勢原市役所 子易第一生産組合長 大山地区代表生産組合長 ＪＡいせはら生産組合代々表	平成24年4月1日～現在 昭和38年4月1日～平成17年3月31日 平成27年4月1日～現在 平成29年4月1日～現在	３５年	露地野菜 果実	自作地 ４０	非該当 (準ずる者)	－	無				黒石　康行 北村　義則 松本　新一	農業 農業 農業	男 男 男	地域に人望があり、農業委員としての過去６年間の実績を評価。
5		○	杉本　和彦	男	65	農業	日本ユニシスサプライ(株) 神奈川県公園協会 石倉上自治会長 石倉自治会衛生委員	昭和50年3月20日～平成23年3月30日 平成24年4月1日～平成27年3月31日 平成27年6月1日～現在 平成27年6月1日～現在	１０年	露地野菜 果実	自作地 １５ 借入地 １３	非該当	－	無							農地を取り巻く諸問題を調べて、伊勢原農業発展に何の対策が必要かを考え、創意工夫で縮小傾向から脱却し、拡大発展できる貢献したいと思っています。 【遊休農地の発生防止等への考え】 遊休農地の発生は、時代の流れで益々増えると思われます。遊休農地の集約と特産物生産地化を図り、生産性向上により担い手が集まってくるようにしたい。

伊勢原市農業委員会の委員候補者　推薦及び応募状況（最終公表）

（平成29年12月14日17時15分現在）

No.	区分		被推薦者及び応募者												推薦者						
	推薦	応募	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況			認定農業者要件（※）	中立要件	推進委員への推薦及び応募	法人・団体（名称・代表者・構成員数）			個人（代表者）			推薦及び応募の理由
							役職等	年月日	営農状況	営農類型	耕作面積（a）				名称	代表者	構成員数	氏名	職業	性別	
6	○		廣木　孝幸	男	69	行政書士	伊勢原市役所	昭和46年10月1日 ～ 平成21年3月31日				非該当	○	無	神奈川県行政書士会秦野・伊勢原支部	支部長 池上　嘉一	79				農業委員会は、集落営農の組織化、法人化、遊休耕作放棄地の発生防止・解消といった役割が期待されております。本人は、市役所職員時に農業委員会の事務局長、全国農業委員会職員協議会会長を経験し、知識もあり、農地利用をはじめとする調整活動に最適である。それらをふまえて、行政手続きの専門家である行政書士の立場から意見を述べ、現場の農地等の適正な利用の推進について役に立ちたいということから推薦する。
							行政書士	平成21年5月1日 ～ 現在													
7		○	多田　應幹	男	70	農業	(株)高島屋	昭和44年4月1日 ～ 平成16年8月31日	０．５年	果実	自作地 ２０	非該当	－	無							農業は農地転用規制緩和等の諸問題、地方で発生している「農地のスポンジ化」、一方で農業従事者の高齢化・後継者不足等々、課題山積である。私は大学教授（流通論・マーケティング論担当）として地域の活性化を１０余年指導しており、退職を機にこれらのキャリアを生かし、地元伊勢原に何らかの形で貢献できればとの考えから応募致しました。 【遊休農地の発生防止等への考え】 遊休農地の発生、担い手不足の原因の一端に農業の価値不足が挙げられる。「選択と集中」の考えに基づけば、選択には伊勢原の農産品のブランド化を促進すること。ブランド化は農産品の価値増殖及び従事者の増加に繋がる。遊休農地対策は、集中、つまり”組み合せ”、例えばセカンドキャリアからの人材の育成と活用、支援システムの導入が解決の糸口になると考えます。
							大阪国際大学教授	平成18年4月1日 ～ 平成21年3月31日													
							桜美林大学教授	平成21年4月1日 ～ 平成29年3月31日													
8	○		越地　　進	男	69	農業	農業委員	平成27年4月1日 ～ 現在	９年	水稲 露地野菜	自作地 １１．７	非該当	－	無	ＪＡいせはら伊勢原地区役員選考委員会	委員長 菊村　純一	24				現在も農業委員であり、地域の農業の状況にも精通しており、農業委員の職務に適任であることから推薦します。
							(株)明治製菓	昭和　年 月　日 ～ 平成18年1月30日													
							ＪＡいせはらＧＣ組合長	平成20年3月1日 ～ 現在													
9	○		萩原　隆雄	男	67	農業	農業委員	平成24年4月1日 ～ 現在	７年	露地野菜	自作地 ５２	非該当	－	無	成瀬地区生産組合	代表生産組合長 金子　広幸	416				現農業委員であり、適任であることから継続を望むため。

伊勢原市農業委員会の委員候補者　推薦及び応募状況（最終公表）

（平成29年12月14日17時15分現在）

No.	区分		被推薦者及び応募者												推薦者						
	推薦	応募	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況			認定農業者要件（※）	中立要件	推進委員への推薦及び応募	法人・団体（名称・代表者・構成員数）			個人（代表者）			推薦及び応募の理由
							役職等	年月日	営農状況	営農類型	耕作面積（a）				名称	代表者	構成員数	氏名	職業	性別	
10	○		木村　　勇	男	78	農業	農業委員 ＪＡいせはら生産組合長 地区活動委員	平成24年4月1日～現在 平成1年4月1日～平成3年3月31日 平成27年4月1日～現在	６０年	水稲 露地野菜	自作地 ８０ 借入地 １０	非該当	－	無	成瀬地区生産組合	代表生産組合長 金子　広幸	416				現農業委員であり、適任であることから継続を望むため。
11	○		横山　正博	男	67	農業	農業委員	平成24年4月1日～現在	４９年	水稲 果実	自作地 １１０ 借入地 １３００	該当	－	無	比々多生産組合	代表生産組合長 飯塚　和男	522				農業委員の経験があり、地域の農業事情に精通している。
12	○		大木　克美	男	63	農業	伊勢原市農協勤務	昭和51年11月10日～平成24年3月31日	４３年	水稲 露地野菜 果実	自作地 １６９	非該当	－	無	比々多生産組合	代表生産組合長 飯塚　和男	522				これまでの職歴・農業経験等から地域の信頼を得ている。また、地域農業や農業事情について精通しており、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止・解消等、農業委員会業務に貢献できると思われるため、推薦する。